

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



項目名

● IgG インデックス

(依頼コード No.13803)

受託開始日 2023年9月1日(金) ご依頼分より

IgGインデックス検査は中枢神経系内での免疫グロブリンIgG産生の程度を推測する指標です。脳脊髄液中のIgGは血清からの移行、または中枢神経系内での産生があります。アルブミンが中枢神経系では産生されないことを利用して、脳脊髄液中と血清中のIgGの比を、アルブミンに対する比率として算出した値がIgGインデックスです。本検査は、主に多発性硬化症の診断補助として用いられています。

【IgGインデックスの計算式】

$$\text{IgGインデックス} = \frac{\text{髄液IgG濃度} \times \text{血清アルブミン濃度}}{\text{髄液アルブミン濃度} \times \text{血清IgG濃度}}$$

(各IgG、アルブミンの単位：mg/dL)

裏面に続きます

株式会社 **第一岸本臨床検査センター**

札幌本社：〒007-0867 札幌市東区伏古七条三丁目5番10号 ☎(011)787-2111 FAX(011)787-2191

資料、お問い合わせは担当者または最寄りの営業所までお願いいたします。

受託要領

検査項目名 及び 依頼(報告) コードNo.	13803 (親) IgG インデックス
	(子) 23156 IgGインデックス
	(子) 23157 ALB-S
	(子) 23158 ALB-L
	(子) 23159 IgG-S ※S:血清 (子) 23160 IgG-L ※L:髄液
統一コード	5A120-0000-098-061
検体必要量	血清 0.6mL 及び 髄液 0.6mL
容器	血清: B-1 → S-1 髄液: S-S
検体の保存方法	冷蔵
所要日数	2~4
検査方法	免疫比濁法 及び 比色法
基準値	IgGインデックス: 0.73以下 各ALB、各IgG : なし
単位	IgGインデックス: なし 各ALB、各IgG : mg/dL
報告範囲	IgGインデックス: 0.10未満~最終値 ALB-S : 100未満~最終値 ALB-L : 0.2未満~最終値 IgG-S : 6未満~最終値 IgG-L : 0.2未満~最終値
報告桁数	IgGインデックス: 小数第2位 ALB-S : 整数 ALB-L : 小数第1位 IgG-S : 整数 IgG-L : 数第1位
検査実施料/判断料	402点/34点(尿・糞便等検査) 本検査は、多発性硬化症の診断の目的で行った場合に算定する。
備考	血清と髄液はペアでご提出ください。 血清、髄液を同時に採取できない場合は、24時間以内に採取して 両材料を併せてご提出ください。 IgGインデックス、血清アルブミン、髄液アルブミン、血清IgG、髄液 IgGをご報告いたします。

【参考文献】

中島一郎, 他: 脳と神経56, 475-482, 2004.

金井正光: 臨床検査法提要 (第34版), 219-220, 2015.